

# 令和元年度いばらきっ子郷土検定 解答と解説

古河市 解答と解説

組	番	氏名
---	---	----

番号	解 説	答
1	鷹見久太郎は、古河藩家老だった蘭学者・鷹見泉石(たかみ せんせき)の曾孫で、1875年(明治8年)に古河町で生まれました。1922年(大正11年)、鷹見久太郎(たかみ きゆうたろう)主宰の東京社で創刊された児童向けの絵雑誌「 <b>コドモノクニ</b> 」とその後継誌「 <b>コドモノテンチ</b> 」の関連資料を紹介しました。傷みにくい厚手のマット紙を用いた紙面には、見開き画面全体に美しい絵と童謡が印刷され、さらに童謡には曲・振付等も付されていた。従来の児童向けの雑誌と一線を画した豪華で洒落た雑誌とされています。	2
2	明治初期に高橋菊次郎(たかはし きくじろう)が古河で最初の製糸業を創業しました。それにより製糸産業が発達し商工業都市として栄えました。人口も急増し、当時の古河町は県内で二番目の人口となったこともあります。	4
3	利根川の別称は <b>坂東太郎</b> で、「坂東(関東)にある長男格(日本で一番大きい)川」の意味があります。	2
4	利根川、渡良瀬川に囲まれた水と緑の豊かな自然の古河市は、 <b>フナ(鮒)</b> 甘露煮の発祥の地です。1762年(宝暦12年)古河の水利の恵みを受け、そこでとれる鮒をフナの煮つけとして旅人などにもてなしたと、当時(古河藩主土井利里(どい としさと)公の時代)の記述が残っています。これが鮒の甘露煮のルーツと考えられます。以後、当時の職人たちが工夫に工夫を重ね現在の味付の下地が作られました。	1
5	山室光史(やまむろ こうじ)選手は小柄だが筋力に定評があり、力技と跳躍技を得意としています。最大の得意種目はつり輪で、日体大の卒業論文はつり輪の「後方伸身2回宙返り2回ひねり下り」の研究でした。	3
6	<b>小柴昌俊(こしば まさとし)</b> (1926年(大正15年)生まれ)は、日本の物理学者です。1987年(昭和62年)、自らが設計を指導・監督したカミオカンデによって史上初めて自然に発生したニュートリノの観測に成功したことにより、2002年(平成14年)にノーベル物理学賞を受賞しました。カミオカンデに使用された光電子増倍管は、古河市のガラス工場で作られたものです。	4
7	日光街道は、江戸時代に江戸幕府の政策として整備された五街道のひとつで、1636年(寛永13年)、江戸と日光間に開通しました。古河宿は、日本橋から数えて9番目の宿場町です。	2
8	永井路子(ながい みちこ)は1925年(大正14年)、東京生まれ。3歳から24歳まで古河で過ごし、1965年(昭和40年)、鎌倉幕府の成立を4つの視点から描いた連作短編小説「 <b>炎環(えんかん)</b> 」で第52回直木賞を受賞。その後も女流文学賞、菊池 寛(きくち かん)賞、吉川英治(よしかわ えいじ)文学賞を受賞するなど、歴史小説界において第一人者として活躍しました。2008年(平成20年)には「 <b>岩倉具視(いわくら とみ)</b> 」で第50回毎日芸術賞を受賞している。古河市名誉市民で古河大使でもあります。	3
9	古河公方(こがくぼう)は、室町時代後期から戦国時代にかけて、下総国古河(古河市)を本拠とした関東足利氏です。1455年(享徳4年)、第5代鎌倉公方・ <b>足利成氏(あしかが しげうじ)</b> が鎌倉から古河に本拠を移し、初代古河公方となりました。その後も政氏(まさうじ)・高基(こうき)・晴氏(はるうじ)・義氏(よしうじ)へと約130年間引き継がれ、御所は主に古河城です。	2
10	古河城は1180年(治承4年)頃、下河辺行平(しもこうべ ゆきひら)が館を築いたのが始まりと言われています。その後、鎌倉・室町時代を経て、1633年(寛永10年)、 <b>土井利勝(どい としかつ)</b> が城主になった際に、三階櫓(やぐら)を築きました。	3
11	コガッツは「小さなガッツでっかい感動」をキャッチコピーに、2010年(平成22年)に20台を導入し、無料で貸し出しを行っています。2015年(平成27年)からは、栃木県野木町のレンタル自転車との相互乗り入れが可能になりました。	1
12	国内で唯一、国際公認規格の卓球ボールを製造する卓球用品の総合用具メーカー「 <b>日本卓球</b> 」。「 <b>ニツタク</b> 」の愛称で知られる同社の古河工場は月産100万個のボールをはじめ、ラバー、ラケットなどを製造しています。	4
13	登呂(とろ)遺跡は静岡県、吉野ヶ里(よしのが)遺跡は佐賀県、上ノ原(うえのはら)遺跡は長野県の遺跡。 <b>川戸台(かわとだい)</b> 遺跡は、発掘調査の結果、9世紀頃に、鉄づくりから加工・製品化までを行っており、相当大きな製鉄・鑄造(ちゆうぞう)遺跡であることが明らかになりました。	4
14	古河公方公園は約25ヘクタールの広大な土地に、たくさんの木々や草花、公方様の森や水辺にたたずむ野鳥、復元された御所(ごしよ)沼に古河公方ゆかりの史跡など、四季を通じて自然と文化に親しめる公園です2018年(平成30年)大河ドラマ「 <b>西郷どん</b> 」のロケ地として公方公園の民家園が使われました。	2
15	<b>ラムサール条約</b> は、湿地の保存に関する国際条約です。茨城、栃木、群馬、埼玉の4県に広がる渡良瀬遊水地は、2012年(平成24年)に登録されました。	3
16	<b>熊沢蕃山(くまざわ ばんざん)</b> (1619年(元和5年) - 1691年(元禄4年))は、江戸時代初期の陽明学者です。諱(いみな)は伯継(しげつぐ)、字は了介(りょうかい)一説には良介、通称は次郎八(じろはち)、後に助右衛門(すけえもん)と改む、蕃山(ばんざん)と号し、また、息遊軒(そくゆうけん)と号しました。	1
17	浅野氏は、総和高校を卒業後、代々木アニメーション学院東京校に進学、同校卒業。2013年(平成25年)、2014年(平成26年)には、古河市の街角美術館で原画展を開催。全国各地、海外からもファンが来場しました。 <b>進撃の巨人</b> は、2013年(平成25年)にテレビアニメ化され、4月から9月にかけて放映されました。	4
18	今の古河地域はすべて印旛(いんぱ)県でした。この印旛県は、1873年(明治6年)に木更津県というところとつよになって千葉県となったため、古河市域も千葉県となりました。そして1875年(明治8年)5月に、今の古河市を含む猿島(さしま)郡や結城(ゆうき)郡は、千葉県から茨城県に変わることになります。このときから今の茨城県とおなじ区域になりました。	2
19	<b>奥原晴湖(おくはら せいこ)</b> は、1837年(天保8年)古河藩大番頭の子として生まれました。幕末から明治期の画家で、野口小蘆(のぐち しょうひん)とともに明治の女流南画家の双璧といわれ、また安田老山(やすだ ろうざん)と関東南画壇の人気を二分しました。	3
20	名崎(なさき)送信所は1933年(昭和8年)に建設され2009年(平成21年)まで中継業務をしていました。現在、その跡地には日野自動車の古河工場が建設されています。作品中では小型怪獣レギオンの群れをガメラから引き剥がすために名崎送信所から電波発信を行いました。	1
21	2006年(平成18年)に、「古河七福神めぐり」と「古河のカレーめん」を合わせて「古河の <b>七福カレーめん</b> 」として事業を推進。七福神にちなみ、各店のメニューは七種類の具材を加えることを共通のルールとし、地元産のかぼちゃや白菜など盛り込むことを推奨している。	2
22	「古河」は、古く「許我」と表記され、『万葉集』に登場します。「 <b>まくらがの こがのわたりの からかぢの おとたかしもな ねなへこゆゑに</b> 」「あはずして ゆかばおしけむ <b>まくらがの こがこぐふねに きみもあはぬかも</b> 」の二首が詠まれています。	4
23	古河の夏の風物詩といえば、古河花火大会です。古河ゴルフリンクスで開催される光の祭典は、毎年多くの観客で賑わいます。古河花火大会の最大の目玉は <b>東京スカイツリー</b> と同等の高さまで打ちあがり、壮大なスケールで花開く三尺玉です。開花高度約600メートル・開花直径約650メートルと超特大の花火です。	1
24	八俣(やまた)送信所はその歴史は古く、70年以上も前の1941年(昭和16年)に開設しました。東京ドーム22個分の敷地に広大なカーテンアンテナが設置されています。この施設は日本で唯一の海外向け短波放送(NHKワールド・ラジオ日本)を行っており、世界各地に短波放送を送信し続けています。	3
25	<b>ぐるりん号</b> は、主に古河地区を運行するコミュニティバスです。東・西・南の3コースを3台の車両で毎日(年中無休)運行しています。	4